こころと身体のクリニック
医療法人社団
五稜会病院

発達障害診断入院パック（心理検査入院）のご案内

ストレスケア病棟で、心と体を休めながら発達障害について詳しく評価する入院です。

この入院は、通常の入院（ストレスケア）と発達障害の診断評価を組み合わせたプログラムです。2週間の入院生活を通して、あなたの特徴や困りごとを多面的に確認し、今後の生活に役立てていきます。

この入院の2つの目的

1 ストレスケア

心と体を休め、これからの生活の土台をつくる

普段の生活やストレスから少し離れて、心と体を休め、生活リズムを整えます。

また、現在の困りごとを整理したり、ストレスへの対処方法を一緒に考えたりしながら、今後の生活をより過ごしやすくすることを目指します。

2 発達障害の診断評価

あなたの特徴や困りごとを詳しく確認する

外来では数か月かかることもある評価を、2週間の入院で集中的に行うことができます。

診察・面接・心理検査に加え、入院中の生活や作業療法での様子などを含め、多面的に評価します。

ASD・ADHDについて総合的に確認し、今後の生活につながる情報を整理します。

2週間の流れ

無理のないペースで進めます。通常の入院と同じように、心身を休めながら過ごしていただけます。

1 入院前

- 必要書類の記入（生育歴シート・質問紙など）
- 必要に応じてご家族との面接を調整

できる範囲でご準備ください

2 入院後（1〜10日目）

- 主治医の診察
- 心理職との面接・心理検査
- 病棟での生活
- 作業療法への参加

体調に合わせて進めます

3 統合・準備（11〜14日目）

- 多職種で情報を整理
- 診断評価と今後の方針について検討
- 退院前説明の準備

4 退院前

- 主治医から診断の説明
- 心理職から心理検査結果の補足説明
- 今後の生活の方向性を一緒に考えます

入院中のお願い

作業療法への参加

通常の入院と同じように、活動を通して心身の状態を整えます。その中で得られた情報は、診断評価の参考にもなります。

外出・外泊について

評価期間中は、原則として外出・外泊を控えてください。必要な場合は、主治医・病棟スタッフにご相談ください。

無理のないペースで

体調に合わせて、休息を優先してください。つらいときは、いつでもスタッフにお知らせください。

今より少し、過ごしやすいこれからのために。

診断を受けるだけの入院ではありません。

ストレスケア病棟で心と体を休めながら、自分の特徴や困りごとを整理し、今後の生活につなげていく2週間です。

安心してご参加ください